ゆきんこ通信

9 月号

2015年
9 月24日発行

新日本スポーツ連盟・静岡県スキー協議会加盟クラブ

（第24巻第 4 号通巻259号）

編集発行者：s.c ゆきんこ運営委員会

郵便振込：No.12330-28606061

スキークラブゆきんこ 上田真巳 宛

中国記

みやた すすむ

八月二十二日上海から成田空港に戻ってきました。一時間遅れの午後九時十五分の事でした。一週間の中国旅行でした。日本の空気に触れた瞬間出発するときよりも涼しくなっていたもののそれでも動くと汗がジワと吹き出てくる。カバンを台車に載せて 駐車場まで運ぶ。

今回中国に行ったのは、中国の残留孤児だった姉を育ててくれた、吉林省大安市舎力と言う町に、姉の息子 甥夫婦と同行したのでした。

あなたは中国の地図はあまり見ないと思いますので、簡単に説明しますと。北京より上の所で中国東北部のロシアと隣接している所が黒龍江省（こくりゅうこうしょう）、その下にあるのが吉林省（きちりんしょう）、ここは北朝鮮と隣接していて、北朝鮮の人が脱北する時に吉林省に駆け込む舞台になるところです。

その下に遼寧省（りょうねいしょう）です、そして中国の東北三省と言われるところです。

私たちの行ったところの大安市は、吉林省の省都長春から三百キロほどモンゴルに近づいたところです。緯度は大さっぱですが、日本の青森か札幌ぐらいの所です。ですから基本的に涼しい所です。木も生えていますが白樺の木だけです。と言えばだいたいの事がわかると思います。

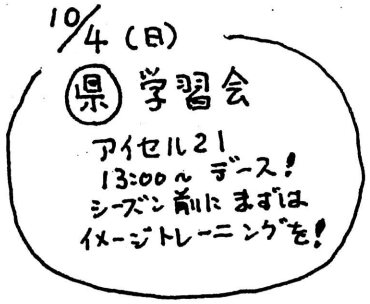
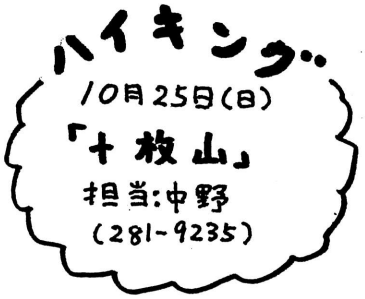
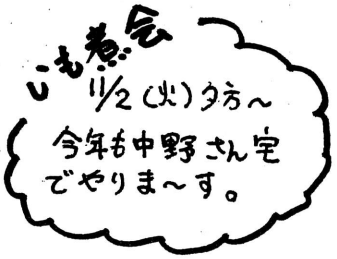
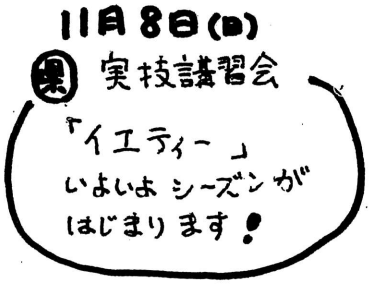
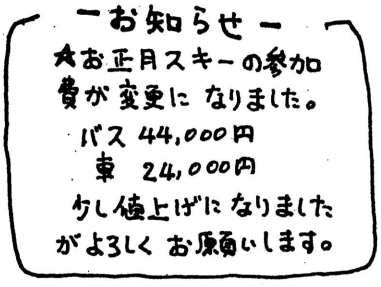
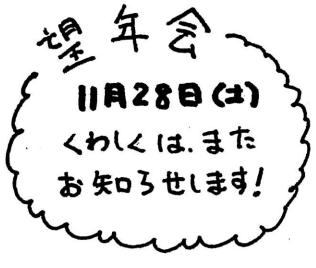
そして驚いたことに石がひとつもなく砂だけでした。その砂も砂時計に入っているような細かい砂です。手で掬うとサラサラと流れ落ちます。砂漠には行ったことがありませんが砂漠の砂のような気がします。そしてここから少し離れると粘土質の土が有ります。昔はこの粘土質の土を利用して煉瓦を作りその煉瓦で家を作ったと聞きました。

実はゆきんこ通信を担当している方から許可をいただきましたのでこの中国の話を少し続けたいとおもいます。

これから出てくる人間の紹介をしておきます。

まず メインは私の甥っ子、そしてここの舎力で育った嫁さん。

この二人が私のナビゲイタアそして通訳です。そして嫁さんの妹そして連れ合い、その二人の間に一粒種の男の子、そして嫁さんの父母、これから私の家族ではありませんがこのまま発言します。

妹と父母は別々に生活をしており妹はマンションに父母は一五キロほど離れた所で農家をしており自給自足の生活です。（私も憧れています）

いか次号